

なりました。子供が学校に行く年令だと当然その学校に行き、数ヶ月もたてば良く話せるようになります。

この文のはじめの方で言葉は意思を通じさせるための手段だと申し上げました。何か目的があってその道具として言葉は使われるのです。たとえば天文学者にとっての目的は天文学の研究で、各国の研究者と意見の交換をするために共通の言葉が必要なのです。ですから研究はほどほどにして語学だけ上達しても意味がありません。子供の場合は遊びが目的になると思います。親についてさっぱりわけのわからない所に来てしまったが、何とかして新しい友達とは遊びたい。遊ぶためには言葉も覚えなければいけない、というわけで子供ながらに外国語を必死になって覚えるのです。

このことは逆にいうと日本に帰ったら外国語は忘れなければならない、ということになります。なまじ変な言葉を覚えていて使ったりすると近所の子供から仲間外れにもされかねません。日本での遊びには日本語で充分なのです。「折角覚えたものを忘れさせるのは惜しい」などというのは教育ママの意見。それまでの外国生活という日本でのプランクの上に「忘れないための勉強」という新たな重荷を子供に押しつけない方が良いのではないかと私は思います。これには2つ例外があります。1つは両親が自由にその言葉を話し、日常生活に2ヶ国語使っている場合（国際結婚の場合）、もう1つは子供が帰国時に中学生位の年令に達していて外国語を習得することに自分から熱意を示す場合です。

豆 辞 典

「CAMAC」

多種類の信号を多種類の機器間でやりとりする場合にこれを専用の線でいちいちつなげないと大変複雑になると。そこでこれらの信号を共通の線（バス線……誰でも乗れるという意味でのバス路線のアナロジー）に載せてしまうことで能率の良いシステムができることがある。これがうまくいっている例がコンピュータの場合である。バス線結合では互換性・拡張性などのメリットがある。

この考えを測定機器の間で実現したもののがひとつが「CAMAC」である。もともとヨーロッパにおける高エネルギー実験物理学分野で、加速器を使う実験などの際の測定機器の互換性の必要から制定された規格である。この規格は電気的レベルの規定から、匡体の寸法に至るまでのレベルの規定をふくむ。語源を知つてわかった気持になれる人のために、Computer Automated Measurement And Control.

これに対して、HP-IB (GP-IB とも IEEE-488 バスともいわれる) バスがもうひとつの有力なシステムで、東京天文台野辺山宇宙電波観測所の大型宇宙電波望遠鏡ではこちらを採用している、

(平林 久)

丸善の出版書

一頁一頁から新しい発見を!!

理科年表

A6 / 定価 860 円

●改訂のポイント●

56年版では、土星などの惑星の環について詳細なデータ、また、気象では生物季節、不快日数など日常生活に身近なデータ、さらに生化学的知識の簡単な、かつエッセンシャルな数直を新しく収載。最近の火山の噴火などにより、火山被害、構成岩石など、火山の詳しいカルテ及び分布図を一新。電波の利用についてもその解説と応用データを付け加えている。

●「理科年表」をより有効に使うために……

「理科年表」に収録されている様々なデータの意味や読み方、そしてその背後にある興味深い科学知識の数々を、多くのイラスト・写真をまじえ、やさしく解説するユニークな科学読本。

理科年表読本

気象と気候

高橋 浩一郎 他著 B6 / 定価 1,200 円

理科年表読本

地震と火山

宇佐美 龍夫 他著 B6 / 定価 1,200 円

丸善 出版部

[〒103] 東京都中央区日本橋3-9-2

第二丸善ビル ☎(03)272-0331